

最大使用電力削減(ピークカット)基本計画書

資料-②

実施時期、目的	7月(6月下旬の可能性有)~9月の平日10:00~21:00の最大使用電力を抑制する。
削減対象ビル	契約電力500kw以上のビルは契約電力(前年実績の可能性有)の 25%を抑制 した最大使用電力とする。(電気事業法を適用予定) 契約電力500kw未満のビルは契約電力(前年実績の可能性有)の 20%を抑制 した最大使用電力とする。(努力義務)

ビル名称	NBF高輪ビル	所管先	NBFオフィスマネジメント	記入者	寺内 章	記入日	2011年 5月 13日
契約者	住友信託銀行株式会社	契約電力	845 kw(A)	昨年最大	845 kw(B)	削減率	25% (C)
※電力需給契約						削減電力	211.25 kw

※AかBの小さい方×C

夏期最大使用電力ピークカットメニュー【ピーク時間(平日10:00~21:00を想定)】

共用部における対策項目

優先順位 (A)	分類	共用部			有	無	削減率	削減電力	
		項目名	例	現場での具体的対策					
第1段階実施項目	熱源	CGSフル運転	ピーク時間中はCGSを100%運転させる。(CGSがある現場のみ)						
	熱源	電動熱源機一部停止	負荷要求に応じて複数の熱源(電動とガス)がある場合電動熱源を停止しガス熱源へ切り替える	夏場は通常チラー3台の運転になるが、1台を停止する	●		4.4%	37.6	
	熱源	蓄熱槽の活用	ピーク時間中は蓄熱層冷水のみで運用		ピーク時間中は蓄熱層冷水を使用し、電力の削減を図る	●			
	熱源	ポンプ運転を自動制御から手動に変更	熱源の冷却水ポンプのインバータ設置値を下げる。 ※流量不足による効率(COP)低下のためガス量悪化あり	熱負荷の状況を見ながら、運転台数を1台~3台手動制御する	●		1.9%	16.4	
	空調	給排気ファンの停止(A)	下記の給排気ファンをピーク時間中停止させる。 ※駐車場・発電機室・消火ポンプ室・消火ポンベ室・倉庫・電気室・ELV機械室	下記の給排気ファンをピーク時間中停止させる。 ※機械室・湯沸室・ポンプ室・MDF室・SK室・倉庫・管理室	●			0.6	
	空調	共用部空調の停止	共用部空調(エントランスホール・ELVホール・廊下・トイレ)の停止。管理諸室の空調(AHU・FCU・PAC)については、ほぼ、停止 共用部(男女トイレ・ELVホール)FCU停止	共用部空調/管理諸室の空調(AHU・PAC)停止	●		0.3%	2.6	
	空調	空調動力の低減	空調機の給気ファンインバータの設定変更(上下限値を下げる)し、空調機の給気設定温度を下げる (ファンの回転数を下げる目的) ※パラメーターとソフトの設定変更が必要	空調機の給気ファン風量の低減(ファンの回転数を下げる目的)、空調機の給気設定温度を下げる。	●				
	空調	制御一部停止	電気室、ELV機械室PAC-FAN制御停止			●			
	照明	共用部照明の間引き・消灯	共用部照明消灯(G灯残して全て消灯)、駐車場照明消灯(G灯残して全て消灯)、電気室・情報通信機械室・発電機室は終日消灯 外構照明OFF、ELVカゴ内照明間引き、エスカレータ裏側照明消灯、サイン灯消灯対応、演出に使われているものは照明は終日消灯		●		1.1%	9.4	
	トイレ・湯沸室	エアタオルの停止	エアタオル(ハンドドライヤー)停止		●			0.7	
	トイレ・湯沸室	ウォシュレットの停止	ウォシュレット関係(便座ヒーター、温水)停止		●		1.1%	9.4	
	トイレ・湯沸室	温水停止	洗面所の温水停止		●		0.2%	2	
	トイレ・湯沸室	給湯器停止	給湯室の給湯器停止		●		0.3%	2.3	
	ELV・ESC	エスカレータの停止	ピーク時間中エスカレータを停止し階段のみ利用(階段の無い商業施設等は除く)			●			
	ELV・ESC	ELVの制限	ELV運転間引き運転		●		1.0%	8.4	
	その他	ブラインド閉鎖	ブラインド閉鎖(手動、スケジュール操作)			●			
その他	水景設備の停止	水景設備(ポンプ、ベンチ用、噴水用等)停止			●				

優先順位 (B)	分類	共用部						
		項目名	例	現場での具体的対策				
第2段階実施項目	空調	給排気ファンの停止(B)	下記の給排気ファンをピーク時間中停止させる。 ※又はブロック分けし間欠運転 トイレ・湯沸かし室・リフレッシュルーム					
	空調	空調機停止	商業階 共用側・客用側空調FCU停止					
	熱源	搬送動力削減	冷水温度を限界まで下げて搬送動力(ポンプ・ファン)を下げる。 ※パラメーターの設定変更が必要。					
	照明	共用部照明の間引き・消灯	共用部バックヤードのオール消灯(誘導灯の明かりを頼りにすれば大丈夫)					
	照明	照明制御の変更	商業アトリウム等は必要最低限の照明制御(シーン制御)					
	照明	人感センサーの変更	人感センサータイマー時間の変更					
	照明	照明消灯	ショーウィンドウ・ショーケースの消灯					
	照明	管球交換	ダミー管照明の導入					
	その他	駐車場運転制限	バス式駐車場等の機械式駐車場で運転電力を多大に要するものについては、全て停止					
	その他	回転扉の制限	回転扉の運転全て停止					
共用部削減合計							10%	89.4

専用部に影響のする対策項目

優先順位 (A)	分類	専用部			有	無	削減率	削減電力
		項目名	例	現場での具体的対策				
第1段階実施項目	空調	ピークシフト運転	深夜電力を使って熱源を運転し、深夜時間中に専用部内の空調機を運転して冷やしておく。そして日中のピーク時間に出来るだけ空調を運転しないようにする。					
	空調	空調一部停止	ペリメーター空調機の部分運転(南側など日射の高い部分のみ※他は停止)	テナントへの啓発	●		3.2% 27.2	
	空調	空調動力の低減	外気ダンパーの絞込み+空調機排風機停止もしくはINV設定変更(上下限値を下げる)。 ※パラメーター(又はソフト)の設定変更が必要。					
	空調	空調設定温度の緩和	室内設定温度28℃		●		1.4% 11.9	
	専用部照明	照明の減灯	専用部照明を1/2・1/3程度まで間引く。(調光センサー利用も可)	テナントへの啓発	●		4.7% 39.7	
	専用部コンセント	OA機器の電源OFF	外出する際はPCの電源をOFFにする。使用しない場合はOA機器(コピー・FAX・プリンタ)の電源をOFFにする。(全体の1%)		●		2.3% 19.5	
	その他	ブラインド閉鎖	ブラインド閉鎖(手動、スケジュール操作)					
第2段階実施項目	熱源	ビル側熱源機器の停止	熱源機器停止					
	空調	空調機間欠運転	インテリア空調機を間欠運転にする。 ※場合によっては複数回発停可能ソフトの導入が必要	インテリア空調機を間欠運転にする。1/4ゾーンを15分ずつ順次停止	●		2.7% 22.5	
	空調	VAVの停止	インテリア空調機が間仕切りなしの大空間の場合、VAVの一部停止。 ※パラメーターの設定変更が必要。					
	空調	空調機停止	空調機の残業運転は行わない。					
	空調	空調機停止	ペリメーター空調機を常時停止する。	ペリメーター空調機(FCU)を30%削減する。(第1段階20%+第2段階10%)	●		1.6% 13.6	
	空調	専用部空調機の間欠・シフト運転	外調機及び内調機を階ごとにブロック分けしピーク時間中ブロックごと時間をずらし(1時間ごと)間欠運転とする。					
	空調	外調機の間欠・シフト運転	外調機を階ごとブロック分けしピーク時間中ブロックごと時間をずらし(1時間ごと)間欠運転とする。 ※外調機を単独停止しても内調機は運転可能なこと					
	専用部照明	照明消灯	専用部照明消灯(G灯残して全て消灯)					
	専用部照明	管球交換	ダミー管照明の導入					
	専用部削減合計							16%

全体の削減合計	26%	223.8
契約電力の削減目標値	25%	211.25

財団法人年金シニアプラン総合研究機構内の節電対策

分類	専有部分			削減率(概算)	削減電力(概算・kw)
	項目名	例	現場での具体的対策		
熱源	コーヒーメーカー	使用しない		8.5%	1.01
熱源	電気ポットの電源を使用時以外off	9:30, 12:00, 15:00 の3回電源を入れて対応		6.7%	0.8
その他	プリンター1台使用中止	使用しない	他のプリンターを使用	6.0%	0.71
照明	入口など業務に差し障りのない電燈の消灯			0.8%	0.1
照明	昼休み中の消灯			0.8%	0.1
その他	使用しない電化製品のコンセントを抜く			0.8%	0.1
合計				23.6%	2.82

昨年度同月ピーク時消費電力(概算)
11.79kw